

上瀬谷のまちづくりについて意見交換を行いました！

旧上瀬谷通信施設の土地利用や国際園芸博覧会の招致検討について、瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会の網代宗四郎会長と旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会の川口篤会長が意見交換を行いました（30年2月14日）。

冒頭、網代会長から「上瀬谷のまちづくりは、瀬谷の発展に向けて区民の期待が高く、地権者の方々の夢や希望を叶えていくことが大切」といったお話がありました。



<瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会 網代会長>



川口会長からは、米軍の通信施設があったことから、電気や水道の基盤整備がされておらず、厳しい土地利用制限の中で農業を行ってきたことなどの苦労話や、地権者組織である旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会の発足経緯についてお話がありました。

<旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会 川口会長>

網代会長は「長年、色々な制限があり、御苦労されてきたなかで、地域の方々が協議を重ねてこられたことは、たいへん尊いこと」と大変感心された様子でした。

また、川口会長は、「返還されたことを機会に、上瀬谷の発展に向けたまちづくりを進めていきたい」とこれからの活動に対する意欲をお話いただきました。



<意見交換の様子>

おわりに、網代会長からは「上瀬谷のまちづくりは、地権者の方々、区民の皆様の意見を反映しながら瀬谷区の発展のために進めていくことが大切」とお話があり、両会長の「瀬谷区の発展に向けたまちづくり」について共通の想いが伺えました。

■瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会

27年6月30日に旧上瀬谷通信施設が日本（防衛省）に返還され、返還後の土地利用や課題等について協議し、区民の意見や要望を関係機関に伝えることを目的として、地区連合町内会長で組織する協議会が設立されました（27年7月1日）。

■旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会

旧上瀬谷通信施設内の民有地の地権者の方々によって、まちづくりの主体として土地利用検討及び意思決定を行い、「良好な生産基盤と活力ある農業振興」と「安全で快適な魅力あるまちづくり」を推進するため設立されました（29年11月27日）。

平成30年3月発行 **旧上瀬谷通信施設**で検索

【編集・発行】横浜市瀬谷区役所区政推進課 〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町190

TEL 045-367-5631 FAX 045-365-1170 E-mail se-kusei@city.yokohama.jp

●このパンフレットは、区役所・地区センター・図書館・区内駅PRボックスで配布しています。（なくなり次第、配布終了になります。）

●<http://www.city.yokohama.lg.jp/seya/matizukuri/kamiseya>でもご覧いただけます。



瀬谷区・旧上瀬谷通信施設ニュース（第3号）

平成30年3月発行

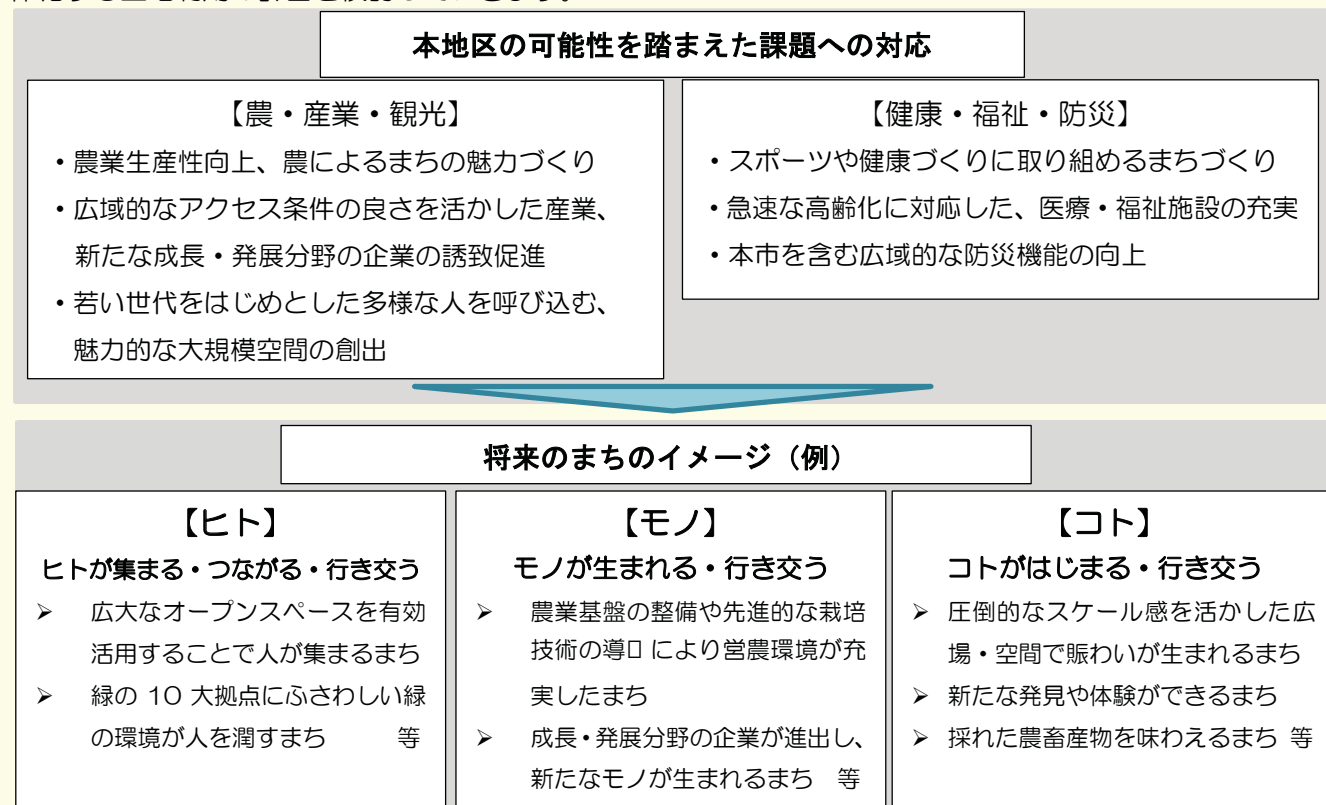
旧上瀬谷通信施設の土地利用の検討状況について

旧上瀬谷通信施設は、横浜のみならず首都圏でも貴重で広大な土地（約242ha）であり、農業振興と新たな都市的土地利用による郊外部の再生に資する新たな活性化拠点を目指しています。

29年11月には、民有地の地権者の方々による「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会」が設立されました。また、都市基盤整備の促進、知名度の向上やイメージの向上、更には国内外の先導的なまちづくりに寄与する、国際園芸博覧会の招致検討を進めています。

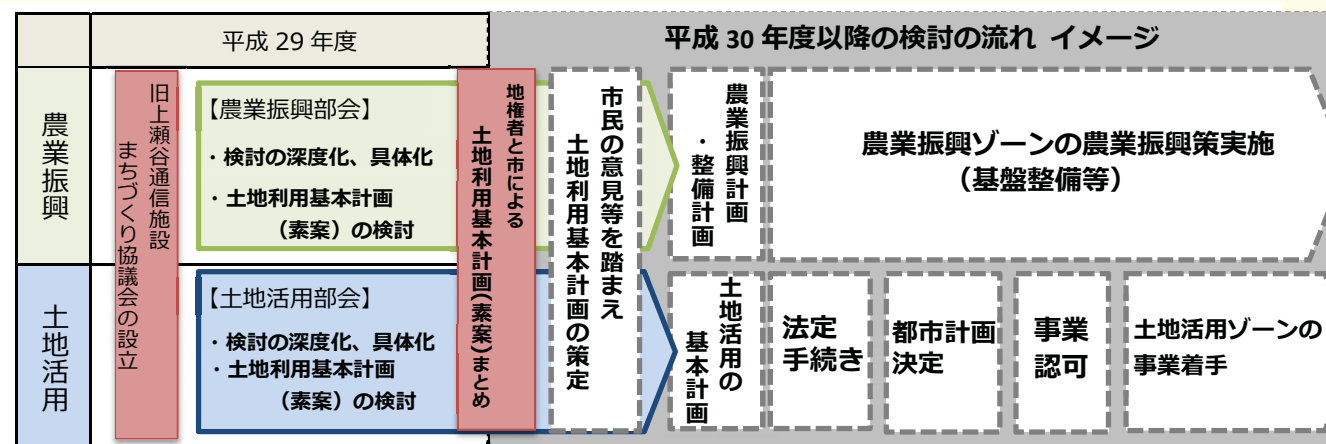
土地利用の検討状況・スケジュール

民有地の地権者の方々による旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会の設立に合わせて、市から、まちづくりの検討材料として、本地区の可能性を踏まえた課題への対応や、将来のまちのイメージ等を提示しています。今後も引き続き、旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会と市で意見交換をしながら、農業振興と土地活用を具体化する土地利用の計画を検討していきます。



スケジュール

今後も旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会との検討を進めるとともに、市民の皆様の意見を伺いながら、「土地利用基本計画」を策定していきます。



土地利用の検討状況詳細については政策局基地対策課のHPをご確認ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kichitaisaku/atochiriyou/atochi-kamiseya.html>

国際園芸博覧会基本構想案について 答申をいただきました！

国際園芸博覧会の招致を図るための基本構想について調査審議を行うため、有識者からなる「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会招致検討委員会」を平成 29 年6月に設置し、これまで6回の委員会を開催しました。

市民の皆様等からいただいたご意見も踏まえ、このたび、委員会より国際園芸博覧会基本構想案として、答申をいただきました。

今後、横浜市の基本構想案としてとりまとめ、開催主体である国に国際園芸博覧会の招致を要請していきます。

<想定スケジュール（予定）>

年度	2017	2018~2025	2026
想定される 主な取組	基本構想案の策定 国への正式要請	招致活動や国際関係機関との調整 会場計画・整備・参加国調整等	国際園芸博覧会 (横浜国際花博) の開催

国際園芸博覧会基本構想案の概要

国際園芸博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決への貢献を目的に開催されています。

横浜には、花と緑やまちを支える市民力、企業・団体の活動があり、全国都市緑化よこはまフェアには600万人もの人々が訪れました。また、国際色豊かな開港都市として、世界中の方々をおもてなしするのにふさわしい素晴らしい舞台でもあります。

旧上瀬谷通信施設において、花と緑をシンボルに、生命感と未来の種にあふれた国際園芸博覧会が開催されることで、基地跡地のまちづくりが進み、次世代に向けた持続的な環境創出や新たな経済の活性化に貢献します。さらに、世界の子どもたちに感動を与え、横浜から未来に向けた創造的な提案や友好と平和のメッセージの発信にもつながります。

■ テーマ



■ 事業コンセプト

花や緑、農や食、大地や交流をコンテンツとして、感動を呼び、幸せを深め、明日を予感させる多彩な風景・SCENE を会場内外で創り出します。



■ 基本事項等

- <開催場所>
旧上瀬谷通信施設
- <開催期日>
2026年4月~9月を想定
- <会場規模>
80~100haを想定
- <入場者規模>
1,500万人以上を想定
- <開催組織>
国が認定する法人等



市民意見募集の実施結果について

国際園芸博覧会基本構想（素案）について、多くの皆様からご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

- 募集期間
平成 29 年 12 月 20 日（水）～平成 30 年 1 月 19 日（金）
- 意見提出者数
431 名
(内訳：市内 386 名（うち瀬谷区 252 名、旭区 14 名）、市外 39 名、不明 6 名)



3 結果

